

喀痰吸引等研修

1. 名称

名称	たかもり喀痰吸引教室
定員	10名
課程	喀痰吸引等研修
受講方法	[基本研修] 講義: 50時間 * 50時間とは別に、最終日に筆記試験があります。 演習: 12時間 [補講基本研修] 演習: 12時間 [実地研修] 当法人の登録特定行為事業所で実施する。
実施期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
カリキュラム	カリキュラムについては(別紙1)を参照。
使用テキスト	『介護職員によるたんの吸引等の研修テキスト』(全国訪問看護事業協会)
受講対象要件及び受講料(税込、テキスト代を含む)	
基本研修[講義・演習]費 * 50時間の講義・演習未修了者	60,000円
補講基本研修[演習]費 * 50時間の講義・演習修了者	20,000円
実地研修費	60,000円

2. 受講の手続き

申込受付期間	令和6年2月1日 から 令和6年2月29日 消印有効
受講資格	・研修の全カリキュラムを受講できる者。 ・喀痰吸引等研修の修了を目指している者。 ・男女を問わず、心身ともに健全である者。
申込方法	受講申込書そのほかの必要書類をご準備頂き、下記の申し込み先まで郵送又はご持参ください。
申込みに必要な書類	提出書類 様式 備考 受講申込書 別紙 2 募集要項に添付しております。
	各資格証の写し - 介護福祉士国家資格 * 介護福祉士養成施設で、医療的ケアの履修を修了している者は、成績証明書の提出を要する。
	各修了証の写し - 実務者研修修了証
お問合せ先	〒742-0341 山口県岩国市玖珂町3813-6 社会福祉法人高森福祉会 研修担当: 安田 TEL: 0827-82-0500 FAX: 0827-82-0736 E-mail: kyasuda_fukushikai@sage.ocn.ne.jp
受講決定	受講者選考は、先着順とさせていただきます。定員に達した時点で締切とさせていただきます。 出願書類到着後10日以内に、受講予定者には「受講決定(仮)通知書」と受講料振込先のご案内を送付いたします。 受講料の振込の確認をもって受講の決定とします。 受講決定者には改めて「受講決定通知書」を送付します。

3. 個人情報の取り扱いについて

本申込みに際し、お預かりしました個人情報については、当法人にて厳重に管理いたします。

また、当法人よりご本人様確認、各種ご案内のため利用する場合もございますので、予めご了承ください。

(別紙2)

社会福祉法人 高森福祉会
喀痰吸引等研修 受講申込書

作成日：令和6年 月 日

フリガナ			性別	写真貼付 4cm×3cm 正面脱帽
氏名			<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	年齢	歳	
現住所	〒 -			
連絡先	(自宅)	-	-	
	(携帯)	-	-	
	(勤務先)	-	-	
勤務先名称				
取得資格 修了研修	*取得されている資格、修了されている研修がございましたらチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> 介護福祉士 <input type="checkbox"/> 介護福祉士実務者研修修了 <input type="checkbox"/> 喀痰吸引等研修修了(基本研修)			

[記入上の注意]

1. 黒色又は青色の筆記用具で記入してください。(鉛筆・シャープペンシル不可)
2. 数字はアラビア数字で記入してください。
3. 文字はくずさず、省略文字は使用しないでください。
4. 住所は枝番号、マンション・ビル名まで記入してください。

[受講申込方法]

1. 上記の「受講申込書」を記入の上、資格証(写)・研修修了証(写)を添えてお申込ください。
※資格証・研修修了証については、該当する方のみご準備ください。資格証・研修修了証等のない方は受講申込書のみご提出ください。
2. 書類審査に合格した方から、「受講決定(仮)通知書」を送付いたします。
※受講決定(仮)通知書」と合わせて、受講料の振込先を送付いたします。
期限内に受講料のお振込みをお願いいたします。期限内にお振込がない場合、受講決定取り消しとなります。
※お振込みの確認ができた方には、「受講決定通知書」を送付いたします。
3. 受講申込は、定員(10名)になり次第締め切らせていただきます。

[個人情報の取り扱いについて]

本申込みに際しいただきました個人情報については、当法人にて厳重に管理いたします。

また、当法人よりご本人様確認、各種ご案内のため利用する場合もございますので、予めご了承ください

こちらの欄には記入しないで下さい。			
承認	受付	通知	受付

回数	日付	時間	研修内容	担当者
1回	令和 6 年 4 月 13 日（土） 9 : 00 ~ 17 : 00	7 時間	第 I 部 総論 第 1 章 人間と社会 1 介護職と医療的ケア 2 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度 第 2 章 保健医療制度とチーム医療 1 保健医療に関する制度 2 医療的行為に関係する法律 3 チーム医療と介護職との連携 第 3 章 安全な療養生活 1 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2 救急蘇生法	
2回	令和 6 年 4 月 27 日（土） 9 : 00 ~ 17 : 00	7 時間	第 4 章 清潔保持と感染予防 1 感染予防 2 職員の感染予防 3 療養環境の清潔、消毒法 4 滅菌と消毒 第 5 章 健康状態の把握 1 身体・精神の健康 2 健康状態を知る項目（バイタルサインなど） 3 急変状態について	
3回	令和 6 年 5 月 11 日（土） 9 : 00 ~ 17 : 00	7 時間	第 II 部 高齢者および障害児・者の喀痰吸引 第 1 章 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論 1 呼吸のしくみとはたらき 2 いつもと違う呼吸状態 3 喀痰吸引とは 4 人工呼吸と吸引 5 子どもの呼吸について 6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 7 呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）	
4回	令和 6 年 5 月 25 日（土） 9 : 00 ~ 17 : 00	7 時間	第 II 部 高齢者および障害児・者の喀痰吸引 第 1 章 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論 8 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 9 急変・事故発生時の対応と事前対策 第 2 章 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順 解説 1 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ・清潔の保持 2 吸引の技術と留意点	
5回	令和 6 年 6 月 8 日（土） 9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間	第 II 部 高齢者および障害児・者の喀痰吸引 第 2 章 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順 解説 3 喀痰吸引にともなうケア 4 報告および記録 第 III 部 高齢者および障害児・者の経管栄養 第 1 章 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論 1 消化器系のしくみとはたらき 2 消化・吸収とよくある消化器の症状 3 経管栄養法とは 4 注入する内容に関する知識	

回数	日付	時間	研修内容	担当者
6回	令和 6 年 6 月 22 日 (土) 9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間	第 III 部 高齢者および障害児・者の経管栄養 第 1 章 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論 5 経管栄養実施上の留意点 6 子どもの経管栄養 7 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 8 経管栄養に関係する感染と予防 9 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 10 急変・事故発生時の対応と事前対策	
7回	令和 6 年 7 月 13 日 (土) 9 : 00 ~ 17 : 00	7 時間	第 III 部 高齢者および障害児・者の経管栄養 第 2 章 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順 解説 1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2 経管栄養の技術と留意点	
8回	令和 6 年 7 月 27 日 (土) 9 : 00 ~ 14 : 30 (13:00~14:30) 筆記試験	4.5 時間	第 III 部 高齢者および障害児・者の経管栄養 第 2 章 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順 解説 3 経管栄養にともなうケア 4 報告および記録 筆記試験	
[評価方法及び修了基準] 講義中の態度、出席状況、試験、レポート等にて評価をおこなう。				
[使用テキスト・参考文献] 「介護職員によるたんの吸引等の研修テキスト」(全国訪問看護事業協会)				

基本研修(演習)

回数	日付	時間	研修内容
1回	令和 6 年 8 月 10 日 (土) 9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間	喀痰吸引 1 口腔：5回以上 2 鼻腔：5回以上 3 気管カニューレ内部：5回以上 自己評価
2回	令和 6 年 8 月 24 日 (土) 9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間	経管栄養 1 胃ろう又は腸ろう：5回以上 2 経鼻経管栄養：5回以上 救急蘇生法演習：1回以上 医療的ケアの総合評価(プロセス評価)

補講基本研修(演習)

回数	日付	時間	研修内容
1回	令和 年 月 日 () 9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間	喀痰吸引 1 口腔：5回以上 2 鼻腔：5回以上 3 気管カニューレ内部：5回以上 自己評価
2回	令和 年 月 日 (土) 9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間	経管栄養 1 胃ろう又は腸ろう：5回以上 2 経鼻経管栄養：5回以上 救急蘇生法演習：1回以上 医療的ケアの総合評価(プロセス評価)

実地研修(社会福祉法人高森福祉会 事業所にて実施)

喀痰吸引等研修(実地研修)	
口腔内の喀痰吸引	10回以上
鼻腔内の喀痰吸引	20回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 評価(プロセス評価)	20回以上

* 医師等の評価において、受講者が習得すべき知識及び技能を習得したと認められるまで実施